

## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・技術課  
担当課長名：東川 直正

事業名：一般国道308号 宝来ランプ	事業区分：一般国道	事業主体：奈良県
起終点：自：奈良県奈良市宝来 至：奈良県奈良市宝来	延長：0.5 km	
事業概要：一般国道308号宝来ランプは、大阪府大阪市から奈良県奈良市を結ぶ主要幹線道路である。一般国道308号高架部から第二阪奈有料道路へ直接乗り入れできるよう改善することにより、第二阪奈有料道路へのアクセス機能や幹線道路ネットワークの強化等が期待される。		
H25年度事業化	H4年度都市計画決定	用地未着手
全体事業費：約18億円	事業進捗率：約3%	供用済延長：— km
計画交通量：68,900台/日		
費用対効果分析結果	総費用：(残事業)/事業全体 12/13 億円 (事業費：12/12億円 維持管理費：0.1/0.1億円)	総便益：(残事業)/事業全体 25/25億円 (走行時間短縮便益：21/21 億円 走行経費減少便益：0.0/0.0 億円 交通事故減少便益：4.7/4.7 億円)
感度分析の結果		基準年：平成30年
(事業全体) 交通量：B/C=1.8~2.2(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.8~2.2(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.0~2.1(事業期間±1年)		(残事業) 交通量：B/C=1.9~2.3(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.9~2.4(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.1~2.2(事業期間±1年)
事業の効果等		
・一般国道308号高架部から第二阪奈有料道路とのアクセス性が向上し、交通安全性の向上、地域産業の活性化・観光振興、緊急輸送道路ネットワークの機能強化が期待される		
関係する地方公共団体等の意見		
・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている ・「奈良県道路整備基本計画」(H26.7策定)の骨格幹線道路ネットワークに位置付けられている		
事業評価監視委員会の意見		
事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等		
第二阪奈有料道路はH31年4月にNEXCO西日本へ移管することが決定		
事業の進捗状況、残事業の内容等		
用地取得率約0%、事業進捗率約3%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		
道路構造や交通規制方法等の見直しを行い、関係機関等との協議が完了したことから、今後は現地測量・調査、詳細設計を進めるなど事業進捗を図り、早期の供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等		
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	事業の必要性等に関する視点、事業進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。